

牛蒡のふりかけ



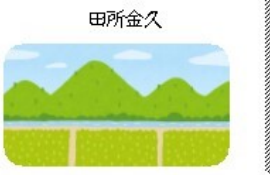
谷内純一

気になる生徒が居ました。シンナーを吸ったということ、なぜ吸ったか尋ねました。すると他校の生徒と二人で日向ぼっこをしていて、なんとなく「シンナー吸ってみようか。」と言いついてのことだったそうです。格別の動機はなかったのです。

息抜き、友達と二人で学校へ帰ってきたとき、顔が上気していてズボンにはほこりが付いていました。噂を聞いてきたんじゃないかと懸念しました。高校二年生の時、お父さんが自殺をしました。三歳から彼を育ててくれた継母は祖母が家から追い出し、祖母との二人暮らしとなりました。私は暗い気持ちになりました。彼を呼び出し「君は一七歳だ。普通は一八歳で独り立ちする。お父さんが亡くなったのは残念だが、君には独り立ちするときにほかの人より一年早く来たのだ。しっかりして生きて行くだ。・・・」

- ③ 制度資本 教育、医療、金融、司法、行政など
① 美しい、豊かな自然環境
② 快適で、清潔な生活ができる住居と文化的環境
③ 子どもたちが、多様な資質と能力を伸ばし、成長しうる学校制度
④ 最高水準の医療サービスを受けることが出来ること
⑤ 資源が効率的、公平に配分できる社会
2 農業は基幹的生産分野である
日本共産党が、こう規定しているのを見て、小松泰信が「隠れ共産宣言」を出版したことは後に述べる。
3 持続可能な食糧生産
第2章 世界の人口と食糧の動態
1 世界人口の急増
20世紀に入って世界人口は急増してきた。
20世紀初頭 16億
2020年 78億
2057年(推定) 100億
人口増加の大部分が低所得の発展途上国である。
途上国で工業化が進み、消費水準も高まる。世界全体で消費する食糧は増加し、農産物の供給力とのアンバランスが生じる可能性がある。
2 世界の食糧事情
米養不足人口は6.6億人(2019年)存在し、過去5年

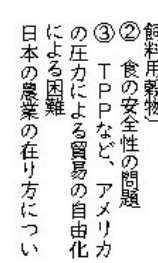
日本の農の営みと国連家族農業10年



田所金久

合ったことでした。」と言いました。
何年後、その亡くなった教え子の奥さんに電話したとき「長男が今年大阪の大学に進学しました。・・・」と話してくれました。ほっとしました。それが彼女との最後の電話となりました。元気でいてほしいです。
追記 本稿作成後、前述の同級生に会うことがあり、亡くなった友人の家族について聞きました。「今は付き合えないので、あまり知らないですが、なんでも彼の息子の一人は音楽家になって大阪ではかなり知られた人だそうです。高知市でコンサートをしたときの写真をみたら、彼とそっくりだったので、涙が出ました。」と言っていました。よかったです。

野菜・肉・米等の価格が上昇している。
新型コロナ禍の中で、アグリビジネスやアメリカ・日本などが推進してきた「農業の近代化、工業と自由貿易で食料・農業問題は解決する」という信仰は崩壊した。
3 食卓から考える農業のカタチ
① 多様化する現代の食
② 食をめぐる新たな課題
③ 持続可能な食と農はSDGsの基礎
第3章 日本の農業の現実と政策
家族経営が減り、高齢化が進む
耕地面積は減り、5年前から15・5万ヘクタール減少し326万ヘクタール減少した
農事組合、株式会社等の法人による組織経営体は増加してきた



食糧自給率の低下
① 輸入できなくなった時の問題(特にタンパク質・飼料用穀物)
② 食の安全性の問題
③ TPPなど、アメリカの圧力による貿易の自由化による困難
日本の農業の在り方について

Table with 7 rows and 4 columns: 農業人口, 平均年齢, 農業経営体, 法人組織, 一般法人の農業参入, 耕作放棄地, 農業総産出額. Includes data for 2000, 2017, and 2020.

輸出拡大の進展が、大規模農家を増やし、農産物の価格を低下させ、輸出を拡大すると政府は言うがこれは誤りである。19年の輸出総額は5877億円であるが、この中には加工食品3277億円が含まれていて、それは輸入原材料に依存する品目が多い。他方、輸入は輸出の10倍の9兆5198億円であり、日本の食は輸入に依存している。
深刻な事態を招いたのは、米国や外国の言いなりになり食料を外国に頼り、農産物を輸入自由化し、国内農業を犠牲にしてきた自民党政権である。大企業の利益第一で農村から土地や労働力を奪ってきた政策が根本的原因である。危機を加速させたのは安倍政権の輸入自由化強行で、その(第5面へ)

前書き 私の農業問題への関心
私の家は農家であった。室町時代に守護細川氏の荘園管理人として土佐へ入国し、豪族として蓮田地や長宗我部氏に仕えた大土地所有者であった。山内入国で武士の地位は奪われなくなった。しかし、野中兼山の失脚と関連し取り潰しに遭い、農業を営んでいた三男のみが田所家を引き継ぐことになった。二男で代った祖父である。1905年に現在の土地に移り自作地主としてますますの暮らしが営まれてきた。戦争が激しくなる私の小学生時代、米・麦・スイカの栽培、養蚕などで暮しを立てていた。自作地主で一定の土地を持っていたのでどうにか米の供出制度、農地改革で豊かな暮らしは出来なかった。高校を卒業するとき、ホーム主人が、三度も家庭訪問をして、親を説得してくれたので大学受験が出来た。
家から通え、奨学金も貰えやすい高知大学教育学部に進学した。恩師の影響を受け高校教師を目指していたのでうれしい大学生活であった。ただ歴史の二人の先生から研究課題までいただいたが、農業問題に関心があったので農業経済学、農村調査を自分の課題とした。教師になってすぐ社研部を創設し、いくつか

1 農業は社会的共通資本である
宇沢弘文が提起した社会的共通資本とは具体的には次の3つの分野から成り立っている
① 自然環境 大気、水、森林、河川、土壌など
② 社会的資本 道路、交通機関、上下水道、電力、ガス(左上へ)